似顔絵セラピー~新しいコミュニケーションツールとして~ 似顔絵セラピー代表 村岡 ケンイチ

en ten ten tennst ust ust as

●はじまり

似顔絵の魅力に初めて触れたのは、美術大 学2年生の時のオープンキャンパス。実際に お客様を前に描いてみて部屋にこもって描く イラストとは違い、モデルとなる人と見てい る周りのみんなが笑いを共有し、喜びを共感 できる事を実感しました。初めてながらにも 似顔絵にはものすごい力を感じましたし、新 しいアートという形でなにか出来ないか、漠 然とした思いが浮かんだ瞬間でした。卒業後 は、そのイメージを持ちながら似顔絵の会社 に入り日々似顔絵と向き合う毎日を過ごしま した。似顔絵の持つ新しい可能性を模索する 中. お世話になっているデザイン事務所に挨 拶に行った時の事です。偶然にも医療関係者 の方がいて私の似顔絵ファイルを見てもらい ました。写真に写っている方の笑顔がとても 印象的だという言葉を頂き、是非一度知り合 いの病院で似顔絵を描いてみないかという話 になったのが「似顔絵セラピー」の始まりで す。

それから5年、ゆっくりゆっくり口コミで続けてきた似顔絵セラピー。患者さんと接してきた中で少しずつですがわかってきた事があります。何度目かの病院で癌患者さんと向き合っていた時、「私はいろんな病院を転々としてきたけれど、これから病気と闘わなければならないの。だから元気の出る似顔絵をちょうだい」そう言われた言葉がすごく胸に響いた事を今でもよく覚えています。絵は技



似顔絵セラピーを病院で行う筆者

術だけではないという事。病気で辛い思い をされている方はナイーヴになりがちだから こそ. こちらも表面だけでなく内面を見ら れているような気がします。心の鎧は捨て て、モデルとなる方を好きになる。相手を受 け入れる。この気持ちがあるだけでコミュニ ケーションは十分伝わって上手くいくと思い ます。描く絵に関しては始めた当初は1人 15分程で仕上げていましたが、出来るだけ1 人1人と丁寧に向き合っていきたいという気 持ちから病室にご家族の方がいればできるだ け一緒にお描きする。時間も倍の30分に設定 し直しました。元気な時はなかなか想像しづ らい事ですが、描き手からすると何枚も描い てきた似顔絵の中の1枚ですが、重度の病気 を煩い入院されている患者さんからすればこ の似顔絵が最初で最後の1枚になる可能性も ある。この事を常に頭のどこかに置いて似顔

絵を描いています。患 者さんによってもちろ ん違いますが、病棟に よって印象的だった事 を少し綴っていこうと 思います。

●小児科

小児がんを煩う小さなモデルさんはお母さんと一緒にオレンジ色のソファーに座っていました。「こんにちは」と挨拶するとはにかんだ口元とはきはきとし



ありのままの現実を輝かせて描く



笑顔がかわいい女の子とお母さん

た話し方、笑うと口角がきゅっと上がる笑顔 の可愛い女の子。こちらもその笑顔に負けな いように笑顔で似顔絵を描き始めます。壁に は病室で描いたという女の子の絵がたくさん 貼ってあります。慣れたタッチで絵が好きな 事がわかったので僕も描いているところが女 の子に見えるよう、色紙の角度を下げ、待っ ている時間も楽しんでもらうよう工夫しま す。下描きが終わり色付けに入ったあたりで 女の子は言いました。「髪の毛がある時に描 いてもらったらよかったね。| 髪の毛がなく ても充分な可愛らしさをおもいっきり引き出 したいという思いで描いてはいましたが、お 母さんに「髪の毛どうしましょうか」とお聞 きしました。お母さんは「病気になったから 似顔絵描いてもらえたんだよ」と女の子に言 い、僕の目を見て真っすぐ「今の記念なんで このまま描いてください | とおっしゃいまし た。この時、コミュニケーションの問題とな るのが、髪の毛を描くか描かないか、その事 について聞くか聞かないか、だと思います。 難しい問題でモデルさんによって答えも違う と思いますが、ご年配の方の場合は髪の毛が なくてもあるように描いたりもします。これ

は一番輝いていた時期を想い出にしてほしいからです。一方、小さなお子さんの場合は髪がなくても生命力を感じ取ってありのままを表現したりします。患者さんからの意見があれば受け入れますが、なるべくありのままの現実を輝かせたい、白髪のおじいさんの髪をいきなり真っ黒に描くとかではなく、光の加減で水色やグレーを混ぜたりする。似顔絵でも入間関係でもコミュニケーションで大切なのはバランスで相手が何を必要としているかを察知して、そっと寄り添いお返しする事を大切にしています。

●精神科

午後一番のモデルとなる方は奥様と10歳前後のお嬢さんの家族3人でいらっしゃいました。とてもしっかりとした雰囲気のご家族でしたし家族が揃って来られるのは精神病棟にしては珍しいな、というのが第一印象でした。スタッフの方からは事前に、うつ病の方であまり周囲の人と話したり病院にも来られないのでどうにか話すきっかけを作りたいとの事。実際に似顔絵を描き始めても心に殻を作っている事がなんとなく伝わってきます。



趣味を絵に取り入れて描く



ご家族と一緒に

苦しみをみんなで分かち合う事が肝心です。 「ご出身は?なにかご趣味はありますか?」 など大きなキーワードから話をしていき、共 通点を探って盛り上がる話を見つけていきま す。同時に話し方や表情、話すタイミングを 見ながら似顔絵も描いていきます。こちらが 気をつける事は聞き手になる事. なるべく落 ち着いて話をしてもらえるよう受け入れる雰 囲気を作る事。今回は会話の中で将棋が趣味 という事がわかりました。家族の方も話に 入ってきます。家族3人の絵。お父さんが真 ん中で将棋を打っています。奥さんや娘さん が途中段階を覗きこんで笑っているのを見 て、お父さんも期待と共に少しずつ心がほぐ れていくのがわかります。後ろからスタッフ の方も覗きこみ「将棋やるんですかー?僕も やるんですよ。今度一緒にうちましょうよ」 と会話が膨らみます。ここで一直線だった会 話が患者さんと絵描き、病院のスタッフの三 角形になっていきます。出来上がった色鮮や かな3人の似顔絵をパッと裏返しお父さんに お見せします。絵を見たお父さんの表情はみ るみる変わっていきます。子供のような、何 も隠していない笑顔。スタッフの方が言い

ました。「お父さん、ここのお部屋にも将棋 セットあるんですよ。もしよかったら一緒に うちましょうよ。いつでも来てください。」 お父さんは少し沈黙の後、「そうだな、たま には将棋でもうちに来ようかな」とつぶやき ました。家族の方が帰られた後、スタッフの 方からは「なかなか来られなかったお父さん があそこまで打ち解け、来る気になってくれ たのは本当に驚きました」という言葉を頂き ました。

●手術後の女の子

「手術が終わって丁度1ヶ月の女の子です」と看護師さんに説明を受けて部屋に入りました。大きな窓が一つある個室のベッドにその子は座っていました。女の子らしく部屋にはぬいぐるみやアニメのキャラクターが飾ってあり、差し込む西日が柔らかい雰囲気を作り出していました。中学生くらいでしょうか。少し照れながらも明るく笑ってくれています。ベッドに伸びた足の片方、膝下が無い事を描き始めてしばらくしてから気付きました。どんなアニメが好き?趣味はなに?部屋に飾ってあるキャラクターからヒントをもら

いつつ話をしていきます。 大手術をしている後とは思 えない程. 明るく素直に対 応してくれる女の子に頭が 下がる思いでその印象を線 に変え色紙の上に描いてい きます。女の子も進んでい く絵をじっと見ています。 コンコン. 扉をノックする 音と共にお母さんが入って きました。微笑む表情の中 にも疲れが伝わってきて. すごく大変な思いをされて きた事がわかります。こち らはどんな時も笑顔でいる 事を心がけています。何気

ない笑顔と自然体で接する事が第一歩だと考 えます。言葉のキャッチボールの中で生まれ たイメージや、病室を飾る彩り、女の子本人 の内側から出る光と合わせて私に出来る精一 杯の似顔絵を描いて行くのを見て、女の子 も興味津々な様子。そんな女の子を見なが ら、お母さんも少しずつ表情がほぐれていき ます。2つに分けた髪のカラフルなゴムに色 をつけて完成。女の子は「わあ、すごい!可 愛い! と喜んでくれました。喜ぶ女の子を 見てとても嬉しそうなお母さん。「できたか なー?」と入ってきた看護師さんも女の子の 喜ぶ顔を見て本当に嬉しそうです。似顔絵に より本人も笑顔になり、その笑顔は周りの人 にも伝わっていく。それによって空間全体が 優しい笑顔でつつまれます。看護師さんから 「女の子は近頃リハビリもやる気がなかった んだけれど、似顔絵を見てまたやる気になっ てくれたようで、何よりお母さんが本当に喜 んでいました」と聞きました。

●みんなで笑顔に

口コミで少しずつ認知して頂いてきた似顔



みんなで笑顔に

絵セラピー(似顔絵セラピーの効果は実際に POMSを用いて数値をとらせて頂き. 愛知厚 生連 海南病院と共に農村医学会にて発表さ せて頂きました)ですが、このようにモデル となる患者さんに喜んで頂くだけでなくご家 族や、また現場で働いている方、みんなで笑 顔に、少しでも元気になって頂きたいと思っ ています。小児科、精神科、外来、循環器内 科、科によって抱える病気も様々。人によっ ても性別によっても年齢によっても様々。人 生の中で皆が病気という壁に突き当たる事が あると思います。痛みや孤独、今まで生きて きた道を皆で共有できるきっかけになればこ れ程嬉しい事はありません。僕は絵描きでも ありますが、この似顔絵セラピーという活動 は生涯向き合っていきたい. とても可能性の ある新しい試みであると確信しています。こ れからも出来るだけ多くの方に似顔絵セラ ピーを知って頂き、開催できる病院や施設を 増やし、僕だけではなく同じ思いがある絵描 きの方達にも協力して頂いて一人でもたくさ んの患者さんに似顔絵セラピーを体験して頂 く事を願っています。